

即便往生



機法一体

法然上人の伝記の中で、もっとも古いものに『醍醐本』があります。

その中に、法然上人がお伝えになったと
いうとても面白い言葉があります。

「慕する人（まうもの）とは阿弥陀仏なり、
恋らるる者（こいはらるるもの）とは我等なり」

わたしたちが阿弥陀仏を慕つてしているので
はありません。阿弥陀仏が、私たちを恋慕つ
てくださっているのです。

この慕つている阿弥陀仏の思いに、私た
ちが気付いて、私たちが阿弥陀仏を思えば、
より早く慈悲の心と一つになることができ
ます。

法然上人は、この他力に気付くことこそ
が大切なことだと、おっしゃっています。
特に、晩年には、このことを強調されてい
ます。

総本山 永觀堂 禅林寺

右の色紙は管長久我嚴昭猊下のご染筆です。前々号の色紙は、京都府京都市在住仲田有希様に進呈します。
ご希望の方はハガキで住所・氏名・希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

